

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 近畿の伝統農産物やこだわり農産物等を対象とした商談会

JA名 JAならけん(奈良県)

1 動機 (経緯)	<p>JAならけんでは、地域農業のメインバンクとして地域農業の担い手である農業法人を特にメイン強化先として訪問活動を実施し、各種経営ニーズに積極的に対応しているところです。</p> <p>今回、JAならけんとしては、初めて近畿農政局主催の商談会に農林中央金庫や奈良県農業法人協会と連携し、商談会に参画しました。</p> <p>商談会には融資部署だけでなく、事業間連携の取り組みの中で経済事業からはセラーとしての参加を行い奈良県の農産物をPRいたしました。</p>
2 概要	<p>日時 平成24年2月23日(木) 13:30~16:30</p> <p>場所 奈良県奈良市 ホテル日航奈良(4階 飛天)</p> <p>プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13:30 開会 ・13:40 商談会参加の生産者、食品企業等の意見交換(PRタイム) ・14:30 個別商談会(ローテーション制商談の後、自由商談) ・16:30 閉会 <p>参加団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セラー JAならけん他奈良県内を中心に計20団体 ・バイヤー 関西の食品加工、小売、流通、飲食関係等計15団体
3 成果 (効果)	<p>奈良県の特産物である柿や大和茶、あすカルビーはもとより、大和野菜をはじめとする伝統農産物やこだわりの農産物をバイヤーの皆様には知っていただきました。</p> <p>また、行政・報道関係者の皆様にも多数ご来場いただき、行政からは、今後行政主体による商談会開催の相談を受けています。</p>
4 今後の 予定(課題)	<p>今後も引き続き、農業法人の6次産業化への支援を行いつつ、共に奈良の農業活性化に貢献できるよう取り組んでまいります。</p>



近畿の伝統農産物やこだわり農産物等を対象とした商談会(奈良県)JAならけん